

鹿児島大学法文学部 法経社会学科法学コース

演習Ⅰ・Ⅱ(刑事訴訟法)

私たち刑事訴訟法ゼミナールは、刑事裁判の様々な課題について研究しています。日本の刑事裁判は、いわゆる「平成の司法制度改革」によって裁判員制度や被害者参加制度が導入されるなど、近年その姿が大きく変容しました。さらには、2016年に刑事訴訟法の改正が行われ、取調べの録音録画録画制度、司法取引などが新に加わりました。近い将来、捜査や公訴の質的な大転換がもたらされることになるでしょう。他方では、冤罪事件など、わが国の刑事訴訟の伝統的な問題が今なお明みに出て続けている現状も見逃すわけにはいきません。刑事訴訟法は、研究の対象として最もホットな法分野のひとつです。



2020年度研究テーマ

- ①国際犯罪と捜査
- ②おとり捜査
- ③別件逮捕と余罪取調べ
- ④令状による捜索・差押え
- ⑤GPSによる位置情報の取得
- ⑥取調べの録音録画
- ⑦司法取引(協議・合意制度)
- ⑧公訴時効制度
- ⑨被害者匿名
- ⑩被害者参加制度
- ⑪入国管理行政と刑事司法
- ⑫科学的証拠と科学捜査
- ⑬DNA型鑑定
- ⑭死刑制度

鹿児島少年鑑別所見学
鹿児島刑務所見学



担当教員: 中島 宏 (刑事訴訟法)

<http://h-nakaji.sakura.ne.jp>

h-nakaji@leh.kagoshima-u.ac.jp